

施策・成果指標の達成状況等一覧(H29)

※次ページ掲載している数値や区分等については、現時点での見込みであり、今後、修正になる可能性があります。

施策・成果指標の達成状況等一覧(H29)

部会	施策名 (直接目標)	成果指標	出典等 ※「n」の値は計画策 定時の値です。	成果指標の達成状況等						施策の達成状況		選定区分 ①～④ 選定外区分 ア～オ	H29予算 (百万円)	総計 (頁)
				計画 策定時値	【参考】H28 年度実績値	H29年度 実績値	第1期(H29) 目標値	単位	H29年度 指標達成度	仮判定	施策の 達成状況			
第1部会 (子育て・教育・福祉部会)	1-4-1 総合的なケアの推進 (多様な主体による地域での支え合いの しくみをつくる)	(1) 高齢者のうち、介護を必要とする人(要介護・要支援認定者)の割合	(健康福祉局調べ)	17.1	17.5		18.4	%				7,112	132	
		(2) 地域包括ケアシステムの考え方の理解度	【n=1,235】 (市民アンケート)	10.1	9.9		16.0	%						
		(3) 在宅チーム医療を担う人材育成研修の受講者累計数	(健康福祉局調べ)	308	609		750	人						
		(4) 介護予防の取組として、地域の活動に参加する人の割合	【n=2,522】 (高齢者実態調査)	10.6	11.5		-	%						
		(5) 民生委員児童委員の充足率	【n=1,682】 (健康福祉局調べ)	90.5	87.8		96.2	%						
		(6) 認知症サポーター養成者数(累計)	(健康福祉局調べ)	24,034	41,980		35,900	人						
	1-4-2 高齢者福祉サービスの充実 (介護が必要になっても高齢者が生活し やすい環境をつくる)	(1) 介護サービスを受けながら住み慣れた地域で暮らす高齢者の数(主な「地域密着型サービス」の延べ利用者数)	(健康福祉局調べ)	10,380	12,651		19,668	人/年				92,463	138	
		(2) 現在利用している在宅サービスの評価(「不満」のない方の割合)	【n=1,805】 (高齢者実態調査)	94.3	92.9		94.3	%						
		(3-1) かわさき健幸福寿プロジェクトの実施結果(プロジェクト対象者の要介護度の維持率)	(健康福祉局調べ)	63.9	49.1		65.0	%						
		(3-2) かわさき健幸福寿プロジェクトの実施結果(プロジェクト対象者の要介護度の改善率)	(健康福祉局調べ)	16.7	15.9		17.0	%						
		(4) 介護人材の不足感	【n=183】(介護人材の確保・定着に関する実態調査)	75.7	77.2		74.0	%						
	1-4-3 高齢者が生きがいを持てる地域づくり (高齢者が生きがいをもって暮らせる環 境をつくる)	(1) 収入を伴う仕事をしている高齢者の割合	【n=2,522】 (高齢者実態調査)	26.7	29.6		-	%				3,046	142	
		(2) シルバー人材センターを通じて、仕事に就いた高齢者の数	(健康福祉局調べ)	2,453	2,480		2,500	人						
		(3) ほぼ毎日外出している高齢者の割合	【n=2,522】 (高齢者実態調査)	48.1	50.8		-	%						
		(4) 高齢者向け施設(いきいきセンター)の利用実績	(指定管理事業報告書)	28.9	28		29	万人						
		(5) 生活に「はり」や「楽しみ」を感じている高齢者の割合	【n=2,522】 (高齢者実態調査)	35.1	43.7		-	%						
	1-4-4 障害福祉サービスの充実 (障害者が生活しやすい環境をつくる)	(1) 日中活動系サービスの利用者数	(健康福祉局調べ)	4,324	4,740		4,865	人/月				26,291	145	
		(2) グループホームの利用者数	(健康福祉局調べ)	998	1,114		1,331	人/月						
(3) 長期(1年以上)在院者数(精神障害)		(国立精神・神経医療研究センター「精神保健福祉資料」)	684	707		561	人							
1-4-5 障害者の自立支援と社会参加の促進 (障害者が社会で活躍しやすい環境をつ くる)	(1) 障害福祉施設からの一般就労移行者数	(健康福祉局調べ)	180	204		214	人				3,388	148		
	(2) 市障害者スポーツ大会競技参加者数	(健康福祉局調べ)	359	422		383	人							
	(3) 障害者が社会参加しやすいまちだと思ふ市民の割合	【n=1,235】 (市民アンケート)	30.0	30.4		31.0	%							
1-4-6 誰もが暮らしやすい住宅・居住環境の整 備 (それぞれのニーズやライフスタイルに 合った住宅が選択できる環境を整える)	(1) 住宅に関する市民の満足度	【n=478】国土交通省(住生活総合調査)から独自集計	73.0	H30年度目標 (1) 77%以上 (2) 3.2%以上		⇒	%				8,567	151		
	(2) リフォーム実施戸数の住宅ストック戸数に対する割合	【n=753,700】総務省(住宅・土地統計調査)から独自集計	2.2			⇒	%							
	(3) 生活支援施設等の併設や地域と連携した取組等を行っている市営住宅団地(100戸以上)の割合	#N/A	17.0	21.0		24.0	%							

※掲載している数値や区分等については、現時点での見込みであり、今後、修正になる可能性があります。

部会	施策名 (直接目標)	成果指標	出典等 ※「n」の値は計画策 定時の値です。	成果指標の達成状況等					施策の達成状況		選定区分 ①～④ 選定外区分 ア～オ	H29予算 (百万円)	総計 (頁)
				計画 策定時値	【参考】H28 年度実績値	H29年度 実績値	第1期(H29) 目標値	単位	H29年度 指標達成度	仮判定			
第1部会 (子育て・教育・福祉部会)	1-4-7 生き生きと暮らすための健康づくり (健康で生き生きとした生活を送る市民を増やす)	(1-1) 主観的健康観(「非常に健康」「ほぼ健康」と回答した市民の割合)【男性】	【n=763】 (健康意識実態調査)	73.7	71.7		-	%			5,675	154	
		(1-2) 主観的健康観(「非常に健康」「ほぼ健康」と回答した市民の割合)【女性】	【n=900】 (健康意識実態調査)	76.8	79.0		-	%					
		(2-1) 特定健康診査実施率	(特定健康診査・特定保健指導実施状況報告)	24.5	26.2		33.0	%					
		(2-2) 特定保健指導実施率(国民健康保険)	(特定健康診査・特定保健指導実施状況報告)	6.0	4.3		22.0	%					
		(3-1) がん検診受診率(肺がん)	(国民生活基礎調査(厚生労働省))	44.5	45.5		50.0	%					
		(3-2) がん検診受診率(大腸がん)	(国民生活基礎調査(厚生労働省))	40.5	43.3		45.0	%					
		(3-3) がん検診受診率(胃がん)	(国民生活基礎調査(厚生労働省))	42.2	43.8		45.0	%					
		(3-4) がん検診受診率(子宮がん)	(国民生活基礎調査(厚生労働省))	46.1	46.1		50.0	%					
		(3-5) がん検診受診率(乳がん)	(国民生活基礎調査(厚生労働省))	46.1	47.4		50.0	%					
		(4) 40歳代の糖尿病治療者割合(国民健康保険)	【n=45,738】 (健康福祉局調べ)	3.1	3.2		3.0	%					
(5-1) 食に関する地域での活動に参加する人の割合(食育の現状と意識に関する調査)	【n=1,761】①食育に関する地域活動への参加割合:食育の現状と意識に関する調査	38.3	H32年度目標(5-1) 40%以上		⇒	%							
(5-2) 食に関する地域での活動に参加する人の割合(食生活改善推進員養成数:健康福祉局調べ)	①食育に関する地域活動への参加割合:食育の現状と意識に関する調査	3,862	4,005		4,100	人							
1-5-1 確かな安心を支える医療保険制度等の運営 (信頼される医療保険及び医療費等の支援制度を安定的に運営する)	(1-1) 国民健康保険料収入率等【現年度分】	(健康福祉局調べ)	92.96	94.12		93.80	%			179,059	162		
	(1-2) 国民健康保険料収入率等【収入未済額】	(健康福祉局調べ)	67.5	43.5		50.0	億円						
	(2-1) 後期高齢者医療保険料収入率等【現年度分】	(健康福祉局調べ)	99.31	99.39		99.45	%						
	(2-2) 後期高齢者医療保険料収入率等【収入未済額】	(健康福祉局調べ)	9,737	12,998		8,900	万円						
1-5-2 自立生活に向けた取組の推進 (最低限度の生活を保障するとともに、自立した生活を送る人を増やす)	(1) 生活保護から経済的に自立(収入増による保護廃止)した世帯の数	(健康福祉局調べ)	608	666		650	世帯			61,894	165		
	(2) 学習支援・居場所づくり事業利用者の高校等進学率	(健康福祉局調べ)	99.0	100.0		100.0	%						
1-6-1 医療供給体制の充実・強化 (いつでも安心して適切な医療が受けられる環境を整える)	(1) かかりつけ医がいる人の割合	(休日急患診療所患者統計)	57.50	59.52		58.00	%			1,771	168		
	(2) 身近な地域の医療機関を受診する市民の割合(平日日中の発熱等への対応)	【n=1,235】 (市民アンケート)	86.90	90.70		87.00	%						
	(3) 川崎DMAT(災害医療派遣チーム)の隊員養成研修修了累計者数(3指定病院の合計)	(健康福祉局調べ)	130	175		170	人						
	(4) 救急搬送者の医療機関までの平均搬送時間 ※【】は、救急車の現場到着時	(消防局調べ)	42.6 【8.4】	40.8 【8.4】		42.6 【8.4】	分以下						
	(5) 救急隊が到着するまでに、市民が心肺蘇生を実施した割合	(消防局調べ)	31.40	36.20		32.10	%						
1-6-2 信頼される市立病院の運営 (誰もが安心して暮らせる公的医療を提供する)	(1-1) 入院患者満足度	(病院局調べ)	87.5	87.6		88.4	%			16,156	172		
	(1-2) 外来患者満足度	(病院局調べ)	77.6	76.8		79.3	%						
	(2) 病床利用率(一般病棟)	(病院局調べ)	72.9	76.5		83.0	%						
	(3) 救急患者受入数	(病院局調べ)	49,873	48,835		50,800	人						
1-6-3 健康で快適な生活と環境の確保 (感染症・食品等による健康被害を防止するとともに、良好な生活環境を整える)	(1-1) 麻しん・風しん予防接種の接種率【第1期】 ※【第1期】:1歳の	【n=14,143】 (健康福祉局調べ)	98.6	98.5		98.6	%			6,802	175		
	(1-2) 麻しん・風しん予防接種の接種率【第2期】 ※【第2期】:小学校入学前の1年間	【n=13,027】 (健康福祉局調べ)	91.6	93.2		95.0	%						
	(2) 感染症予防(手洗い・咳エチケット)の実施率	【n=1,235】 (市民アンケート)	95.0	94.2		95.0	%						
	(3) 食中毒の発生件数	(健康福祉局調べ)	8	13		8	件						
	(4) 「食中毒予防の3原則」の実施率	【n=1,235】 (市民アンケート)	86.8	84.1		87.0	%						
	(5) 市が実施する衛生的な住環境に関する講習会の実施回数	(健康福祉局調べ)	95	91		116	回						

※掲載している数値や区分等については、現時点での見込みであり、今後、修正になる可能性があります。

部会	施策名 (直接目標)	成果指標	出典等 ※「n」の値は計画策 定時の値です。	成果指標の達成状況等					施策の達成状況		選定区分 ①～④ 選定外区分 ア～オ	H29予算 (百万円)	総計 (頁)
				計画 策定時値	【参考】H28 年度実績値	H29年度 実績値	第1期(H29) 目標値	単位	H29年度 指標達成度	仮判定			
第1部会 (子育て・教育・福祉部会)	2-1-1 子育てを社会全体で支える取組の推進 (地域で子育てを支えるしくみをつくる)	(1) ふれあい子育てサポートセンターの利用者数	(ふれあい子育てサポートセンター事業実施報告書)	15,779	15,596		16,300	人			28,252	182	
		(2) 地域子育て支援センター利用者の満足度	【n=1,390】(地域子育て支援センター利用者アンケート)	8.9	-		8.9	点/10点					
	2-1-2 質の高い保育・幼児教育の推進 (子どもを安心して預けられる環境を整える)	(1) 待機児童数	(厚生労働省通知「保育所等利用待機児童数調査について」)	0	6		0	人			55,135	184	
		(2) 保育所等における利用者の満足度	(認可保育所等を利用している方への調査)	7.9	-		8.0	点/10点					
	2-1-3 子どものすこやかな成長の促進 (子どもがすこやかに成長できるしくみをつくる)	(1) 乳幼児健診の平均受診率(厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」)	(厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」)	97.2	95.2		97.3	%			6,345	188	
		(2) 子育てが楽しいと思う人の割合(1歳6か月健診時における子育て生活基本調査)	【n=997】(1歳6か月健診時における子育て生活基本調査)	97.5	97.2		97.6	%					
		(3) わくわくプラザの登録率(わくわくプラザ利用実績報告書)	(わくわくプラザ利用実績報告書)	46.3	48.1		47.0	%					
		(4) わくわくプラザ利用者の満足度(わくわくプラザを利用している方への調査)	(わくわくプラザを利用している方への調査)	7.3	-		7.4	点/10点					
	2-1-4 子どもが安心して暮らせる支援体制づくり (子どもが安心して育つしくみをつくる)	(1) 里親の登録者数	(厚生労働省「福祉行政報告例」)	116	133		118	人			8,917	192	
		(2) 地域で子どもを見守る体制づくりが進んでいると思う人の割合	【n=1,423】(要保護児童対策地域協議会関係者アンケート調査)	30.8	0.0		36.0	%					
	2-2-1 「生きる力」を伸ばし、人間としての在り方 生き方の軸をつくる教育の推進 (すべての子どもが社会で自立して生きていくための基礎を培う学校をつくる)	(1-1) 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している、どちらかといえばしている」と回答した児童の割合【小6】	(全国・学力学習状況調査(H26:毎年実施))	75.9	78.0		77.0	%			7,274	198	
		(1-2) 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している、どちらかといえばしている」と回答した生徒の割合【中3】	(全国・学力学習状況調査(H26:毎年実施))	66.7	69.3		68.0	%					
		(2-1) 「授業が分かる、どちらかといえば分かる」と回答した児童の割合【小5】	(川崎市学習状況調査(H26:毎年実施))	88.3	89.5		90.0	%					
		(2-2) 「授業が分かる、どちらかといえば分かる」と回答した生徒の割合【中2】	(川崎市学習状況調査(H26:毎年実施))	73.4	76.1		75.0	%					
		(3-1) 体力テストの結果【小5男】	(全国体力・運動能力、運動習慣等調査(H26:毎年実施))	99.7	100		100	※神奈川県 の平均値を100 とした際の 本市の割合					
		(3-2) 体力テストの結果【小5女】	(全国体力・運動能力、運動習慣等調査(H26:毎年実施))	99.4	100.2		100						
		(3-3) 体力テストの結果【中2男】	(全国体力・運動能力、運動習慣等調査(H26:毎年実施))	92.9	93.1		100						
		(3-4) 体力テストの結果【中2女】	(全国体力・運動能力、運動習慣等調査(H26:毎年実施))	94.5	95.3		100						
	2-2-2 一人ひとりの教育的ニーズへの対応 (支援が必要な児童生徒の学習環境を向上させる)	(1) 支援の必要な児童の課題改善率	【n=6,757】 (教育委員会調べ)	81.8	91.3		88.0	%			1,927	204	
		(2) 1,000人あたりの暴力行為発生件数(中学校)	(教育委員会調べ)	8.29	6.88		8.22	件					
(3-1) いじめの解消率【小学校】		(教育委員会調べ)	65.8	78.7		80.0	%						
(3-2) いじめの解消率【中学校】		(教育委員会調べ)	83.2	87.1		90.0	%						
(4-1) 不登校児童生徒の出現率【小学校】		【n=71,436】 (教育委員会調べ)	0.38	0.41		0.30	%						
(4-2) 不登校児童生徒の出現率【中学校】		【n=28,816】 (教育委員会調べ)	3.48	3.34		3.39	%						
2-2-3 安全で快適な教育環境の整備 (安全で快適に過ごせる学習環境を整える)	(1-1) 児童生徒の登下校中の事故件数	(教育委員会調べ)	29	25		27	件			8,960	208		
	(1-2) 老朽化対策及び質的改善が行われた学校施設の割合	【n=174】 (教育委員会調べ)	24.1	26.4		28.7	%						
2-2-4 学校の教育力の向上 (教職員の資質を高め、保護者や地域と連携して、よりよい学習活動(授業等)を実現する)	(1-1) 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている、どちらかといえばしている」と回答した児童の割合【小6】	(全国学力・学習状況調査(H26:毎年実施))	58.4	59.5		59.0	%			5,323	211		
	(1-2) 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている、どちらかといえばしている」と回答した生徒の割合【中3】	(全国学力・学習状況調査(H26:毎年実施))	45.0	46.5		45.5	%						
	(2-1) 「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえばしている」と回答した児童の割合【小6】	(全国学力・学習状況調査(H26:毎年実施))	53.6	55.3		55.0	%						
	(2-2) 「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえばしている」と回答した生徒の割合【中3】	(全国学力・学習状況調査(H26:毎年実施))	31.2	35.0		32.0	%						
	(3-1) 「学校生活が楽しい、どちらかといえば楽しい」と回答した児童の割合【小5】	(川崎市学習状況調査(H26:毎年実施))	93.3	93.5		93.3	%						
	(3-2) 「学校生活が楽しい、どちらかといえば楽しい」と回答した生徒の割合【中2】	(川崎市学習状況調査(H26:毎年実施))	89.9	90.2		90.0	%						
2-3-1 家庭・地域の教育力の向上 (大人や子どもなど、地域での多世代の交流を増やすとともに、家庭教育の悩みを軽減する)	(1) 親や教員以外の地域の大人と知り合うことができた割合	【n=507】(寺子屋事業参加者アンケート)	87.6	89.8		90.0	%			81	216		
	(2) 家庭教育事業を通じて悩みや不安が解消・軽減した割合	【n=116】(※家庭教育事業参加者アンケート)	91.4	92.4		92.0	%						

※掲載している数値や区分等については、現時点での見込みであり、今後、修正になる可能性があります。

部会	施策名 (直接目標)		成果指標		出典等 ※「n」の値は計画策 定時の値です。	成果指標の達成状況等					施策の達成状況		選定区分 ①～④ 選定外区分 ア～オ	H29予算 (百万円)	総計 (頁)
						計画 策定時値	【参考】H28 年度実績値	H29年度 実績値	第1期(H29) 目標値	単位	H29年度 指標達成度	仮判定			
第1部会 (子育て・教育・福祉部会)	2-3-2	自ら学び、活動するための支援 (市民が生き生きと学び、活動するための環境をつくる)	(1)	教育文化会館・市民館・分館の社会教育振興事業参加者数	(教育委員会調べ)	8.9	8.9		9.0	万人				1,838	219
			(2)	教育文化会館・市民館・分館施設利用率	(教育委員会調べ)	56.6	56.7		56.9	%					
			(3)	市立図書館・分館における図書館の入館者数	(教育委員会調べ)	433.7	409.4		435	万人					
			(4)	学校施設開放の利用者数	(教育委員会調べ)	260.9	267.0		261	万人					
			(5)	社会教育振興事業を通じて新たなつながりが増えた割合	【n=381】(※事業参加者アンケート)	67.5	70.4		69.0	%					

※掲載している数値や区分等については、現時点での見込みであり、今後、修正になる可能性があります。

部会	施策名 (直接目標)	成果指標	出典等 ※「n」の値は計画策 定時の値です。	成果指標の達成状況等						施策の達成状況		選定区分 ①～④ 選定外区分 ア～オ	H29予算 (百万円)	総計 (頁)
				計画 策定時値	【参考】H28 年度実績値	H29年度 実績値	第1期(H29) 目標値	単位	H29年度 指標達成度	仮判定	施策の 達成状況			
第2部会(まちづくり部会)	1-1-1 災害・危機事象に備える対策の推進 (災害発生時の被害や生活への影響を減らす)	(1) 避難所運営会議を開催している避難所の割合	(総務局調べ)	66.9	68.0		70.5	%			2,806	92		
		(2) 避難所を知っている人の割合	【n=1,331】 (市民アンケート)	39.5	39.1		43.6	%						
		(3) 家庭内備蓄を行っている人の割合	【n=1,235】 (市民アンケート)	56.9	52.0		57.5	%						
	1-1-2 地域の主体的な防災まちづくりの推進 (地域の特性に応じた地域防災力向上により、延焼等による被害を減らす)	(1) 重点対策に取り組む密集市街地における大規模地震時の想定焼失棟数の削減割合	(まちづくり局調べ)	20.0	17.0		25.0	%			124	96		
		(2) 市内全道路延長に対する4m未満の道路の割合	【n=2,926】(都市計画課基礎調査のデータ(5年毎))	20.0	-		16.0	%						
	1-1-3 まち全体の総合的な耐震化の推進 (地震発生時の建築物等の倒壊による被害を減らす)	(1) 特定建築物の耐震化率	【n=12,501】(耐震改修促進計画)(H22末見直し時の数値をベースにH27末実態調査及び一部推計)	92.0	92.8		93.0	%			707	99		
		(2) 住宅の耐震化率	【n=684,100】(総務省「H25住宅・土地統計調査」よりH27末を推計)	92.0	92.7		93.0	%						
		(3) 橋りょうの耐震化率	【n=384】(建設緑政局調べ)	47.0	51.0		51.0	%						
	1-1-4 消防力の総合的な強化 (消防力を強化することで、さまざまな災害から市民を守る)	(1) 出火率	(消防局調べ)	2.58	2.51		2.49	件			4,425	102		
		(2) 消防団員数の充足率	(消防局調べ)	87.8	86.5		89.7	%						
	1-1-5 安全・安心な暮らしを守る河川整備 (水害から市民の生命、財産を守る)	(1) 時間雨量50mm対応の河川改修率	(建設緑政局調べ)	81.0	81.0		81.0	%			2,032	105		
		(2) 五反田川放水路の整備により洪水による氾濫から守られる面積の割合	(建設緑政局調べ)	50.0	50.0		50.0	%						
	1-2-1 防犯対策の推進 (市内で発生する犯罪を未然に防ぐ地域づくりを進める)	(1) 空き巣等の刑法犯認知件数	(神奈川県警察統計資料)	10,685	9,177		10,400	件			754	110		
		(2) 路上喫煙防止重点区域通行量調査で確認された喫煙者数	(市民文化局「路上喫煙防止重点区域(7か所)通行量調査」)	42	29		36	人						
		(3) 消費生活相談の年度内完了率	【n=8,766】(川崎市消費生活相談年報)	97.7	99.5		98.0	%						
	1-2-2 交通安全対策の推進 (市内の交通事故を減らす)	(1) 交通事故発生件数	(神奈川県警察交通年鑑)	3,696	3,218		3,500	件			1,688	113		
		(2) 駅周辺における放置自転車の台数	(建設緑政局調べ)	3,367	2,935		3,200	台						
	1-2-3 ユニバーサルデザインのまちづくりの推進 (誰もが訪れやすく暮らしやすい「ユニバーサルデザインのまち」にする)	(1) バリアフリー化すべき重要な特定の道路の整備割合	(まちづくり局調べ)	35.0	58.0		65.0	%			741	116		
		(2) 市内法人タクシーに占めるユニバーサルデザインタクシーの割合	(神奈川県タクシー協会川崎支部提供資料)	2.5	2.7		10.0	%						
		(3) 誰もが安全・安心に公共施設を利用できると感じる人の割合	【n=1,235】 (市民アンケート)	49.1	46.1		49.3	%						
1-2-4 地域の生活基盤となる道路等の維持・管理 (誰もが安全、快適に道路を利用できる)	(1) 道路施設の健全度	(5年以内に補修や修繕が不要な道路施設の割合)	73.0	82.0		81.0	%			7,567	119			
	(2) 不法占拠解消の累計件数	(建設緑政局調べ)	90	277		330	件							
	(3) 被災時に復旧に寄与する道路台帳図の割合	【n=870】(建設緑政局調べ)	6.0	29.0		53.0	%							
1-3-1 安定給水の確保と安全性の向上 (安全でおいしい水を安定的に供給する)	(1) 重要な管路の耐震化率	(上下水道局調べ)	70.6	79.6		85.1	%			19,726	124			
	(2) 災害時の確保水量	(上下水道局調べ)	6	23		24	日分							
	(3) 開設不要型応急給水拠点の整備率	(上下水道局調べ)	7.6	17.4		26.2	%							
1-3-2 下水道による良好な循環機能の形成 (地域の安全と環境を守り、きれいな水を川崎の川と海に返す)	(1) 重要な管きよの耐震化率(川崎駅以南の地域)	【n=800km】(上下水道局調べ)	33.5	65.1		67.2	%			17,114	127			
	(2) 浸水対策実施率(丸子、宮崎、大師河原、馬絹、久末地区)	【n=847ha】(上下水道局調べ)	22.6	57.6		57.8	%							
	(3) 合流改善率(大雨時に川や海に処理しきれない下水が放流されることへの対策)	【n=3,550ha】(上下水道局調べ)	68.5	68.5		73.5	%							

※掲載している数値や区分等については、現時点での見込みであり、今後、修正になる可能性があります。

部会	施策名 (直接目標)	成果指標	出典等 ※「n」の値は計画策 定時の値です。	成果指標の達成状況等					施策の達成状況		選定区分 ①～④ 選定外区分 ア～オ	H29予算 (百万円)	総計 (頁)
				計画 策定時値	【参考】H28 年度実績値	H29年度 実績値	第1期(H29) 目標値	単位	H29年度 指標達成度	仮判定			
第2部会 (まちづくり部会)	3-1-1 地球環境の保全に向けた取組の推進 (地球温暖化による市民生活などへの影響を減らす)	(1) 市域の温室効果ガス排出量の削減割合	(環境局調べ)	▲ 13.8	▲ 15.7		▲ 20.0	90年度比 (%)				262	226
		(2) 市民や市内の事業者による環境に配慮した取組(省エネなど)が進んでいると思う市民の割合	【n=1,204】 (市民アンケート)	24.9	27.7		26.0	%					
	3-2-1 地域環境対策の推進 (空気や水などの地域環境を守る)	(1) 光化学スモッグ注意報の発令日数	(環境局調べ)	6	4		2	日				465	230
		(2) 二酸化窒素の環境基準を達成した測定局の割合	【n=18】(環境局調べ)	94.4	100.0		100.0	%					
		(3) 河川のBOD、COD環境目標値達成率	(環境局調べ)	100.0	100.0		100.0	%					
	3-2-2 持続可能な循環型のまちをめざした取組の推進 (廃棄物の発生抑制、再利用、再生利用を進める)	(1) 1人1日あたりのごみ排出量	(環境局調べ)	998	947		971	g				12,484	233
		(2) ごみ焼却量(1年間)	(環境局調べ)	37.1	36.6		36	万t					
	3-3-1 協働の取組による緑の創出と育成 (多様な主体との協働、連携により緑を育む)	(1) 緑のボランティア活動の累計か所数	(建設緑政局調べ)	2,355	2,321		2,380	箇所				591	238
		(2) 市民100万本植樹運動による累計植樹本数	(建設緑政局調べ)	61	80		75	万本					
	3-3-2 魅力ある公園緑地等の整備 (豊かな市民生活を実現するため、都市に緑と水のオープンスペースを創出す)	(1) 一人あたりの公園緑地面積	(建設緑政局調べ)	5.0	5.0		5.0	m ² /人				3,722	241
	3-3-3 多摩丘陵の保全 (市域に残された緑地、サトヤマを再生、保全し、次世代に継承する)	(1) 緑地保全面積	(建設緑政局調べ)	232	240		272	ha				1,054	244
		(2) 企業・教育機関等の参加による保全活動累計か所数	(建設緑政局調べ)	4	4		5	か所					
	3-3-4 農地の保全・活用と「農」とのふれあいの推進 (多面的な役割を果たしている貴重な農地を市民とともに継承する)	(1) 生産緑地の年間新規指定面積	(経済労働局調べ)	12,000	10,528		12,000	m ²				44	246
		(2) 防災農地の年間新規登録数	(経済労働局調べ)	7	11		8	か所					
		(3) 市民農園等の累計面積	(経済労働局調べ)	73,790	97,082		78,000	m ²					
	3-3-5 多摩川の魅力を活かす総合的な取組の推進 (多くの市民が「憩い」「遊び」「学ぶ」多摩川の魅力を高める)	(1) 多摩川に魅力を感じ、利用したことのある人の割合	【n=1,235】 (市民アンケート)	37.7	40.1		38.0	%				404	249
	4-5-1 魅力にあふれた広域拠点の形成 (川崎・武蔵小杉・新百合ヶ丘駅周辺の魅力を高める)	(1) 広域拠点(川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅)の駅周辺人口	(川崎市統計書)	12.6	13.1		12.9	万人				7,225	300
		(2) 広域拠点(川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅)の駅平均乗車人員	(川崎市統計書)	52.4	56.4		53.8	万人/日					
	4-5-2 個性を活かした地域生活拠点等の整備 (新川崎・鹿島田・溝口・鷺沼・宮前平・登戸・向ヶ丘遊園駅周辺の魅力を高める)	(1) 地域生活拠点(新川崎・鹿島田駅・溝口駅・鷺沼・宮前平駅・登戸・向ヶ丘遊園駅)の駅周辺人口	(川崎市統計書)	17.5	18		17.6	万人				5,569	303
		(2) 地域生活拠点(新川崎・鹿島田駅・溝口駅・鷺沼・宮前平駅・登戸・向ヶ丘遊園駅)の駅平均乗車人員	(川崎市統計書)	51.5	53.6		52.1	万人/日					
4-6-1 安全で安心して快適に暮らせる計画的なまちづくりの推進 (都市環境と調和した暮らしやすく魅力的な都市空間を創出する)	(1) 新築される建築物のうち、環境に配慮した建築物の割合	(まちづくり局調べ)	17.0	21.0		19.0	%				995	308	
	(2) 市街地開発事業等の制度を活用した取組の累積件数	(まちづくり局調べ)	6	6		7	件						
4-6-2 地域の主体的な街なみ形成の推進 (機能的で美しく、住んでいてこころよい街なみを創出する)	(1) 「川崎市景観計画」等に位置づけられる景観形成基準が遵守されている割合	(まちづくり局調べ)	15.5	20.1		22.0	%				16	311	
	(2) 「川崎市地区まちづくり育成条例」に基づく登録・認定団体の累計件数	(まちづくり局調べ)	12	17		16	件						
4-7-1 広域的な交通網の整備 (首都圏における円滑な交通網を整える)	(1) 都市拠点から羽田空港までの平均所要時間	(国土交通省の調査データ(パーソナルトリップ調査、道路交通センサス)などに基づく本市推計値)	44					(1) 約20%短縮(H44目標)	⇒	分	1,166	316	
	(2) JR南武線の最混雑時間帯における混雑率	(国土交通省ホームページにおける鉄道関係統計データ)	195.0					(2) 185%以下(H33目標)	⇒	%			
4-7-2 市域の交通網の整備 (自動車での市内交通を円滑化する)	(1) 都市計画道路進捗率	【n=305km】(建設緑政局調べ)	68.0					(1) 69%以上(H33目標)	⇒	%	13,884	319	
	(2) 市内幹線道路における混雑時(朝夕ピーク時)の平均走行速度	(建設緑政局調べ)	16.9					(2) 17.8km/h以上(H37目標)	⇒	km/h			
4-7-3 身近な交通環境の整備 (地域の人々が生活しやすい交通環境を整える)	(1) 市内全路線バスの乗車人員数(1日平均)	(市統計書・交通局データ)	31.6045	32.1		32	万人				80	322	
	(2) 自転車に関わる交通事故件数	(神奈川県警察交通安全鑑)	1,097	899		1,060	件						
4-7-4 市バスの輸送サービスの充実 (安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供する)	(1) 有責事故発生件数(走行距離10万km当たりの有責事故発生件数)	(交通局調べ)	0.29	0.38		0.28	件				4,073	325	
	(2) お客様満足度	【n=1,402】 (市バスお客様アンケート調査)	55.4	59.2		62.5	%						
	(3) 市バスの乗車人数(1日平均)	(交通局調べ)	12.79	13.1		12.9	万人						

※掲載している数値や区分等については、現時点での見込みであり、今後、修正になる可能性があります。

部会	施策名 (直接目標)	成果指標	出典等 ※「n」の値は計画策 定時の値です。	成果指標の達成状況等						施策の達成状況		選定区分 ①～④ 選定外区分 ア～オ	H29予算 (百万円)	総計 (頁)
				計画 策定時値	【参考】H28 年度実績値	H29年度 実績値	第1期(H29) 目標値	単位	H29年度 指標達成度	仮判定	施策の 達成状況			
第3部会 (自治・文化・経済部会)	4-1-1 アジアを中心とした海外での事業展開支援の強化 (海外展開する市内企業を支援し、海外で活躍する企業を増やす)	(1) 市が支援したビジネスマッチングの年間成立件数	(経済労働局調べ)	581	840		630	件				104	255	
		(2) グリーンイノベーションクラスターのプロジェクトの年間件数	(経済労働局調べ)	2	2		5	件						
	4-1-2 魅力と活力のある商業地域の形成 (魅力と活力のある商業地域の形成や付加価値が高く競争力のある商品の供給により、商業を活性化させる)	(1) 小売業年間商品販売額	(商業統計調査)	9,838	平成30年度3月頃判明		10,000	億円				1,730	258	
		(2) 市場の年間卸売取扱量	(経済労働局調べ)	151,433	133,290		151,433	t						
	4-1-3 中小企業の競争力強化と活力ある産業集積の形成 (市内中小企業の技術を活かして事業展開できる環境を整備することで、経営を改善し、成長を促進させる)	(1) 製造品出荷額等	(工業統計調査)	42,968	平成30年度判明		42,968	億円				24,136	261	
		(2) 知的財産交流会におけるマッチングの年間成立件数	(経済労働局調べ)	4	3		4	件						
	4-1-4 都市農業の強みを活かした農業経営の強化 (市内農家の農業経営を安定化・健全化させる)	(1) 認定農業者累計数	(経済労働局調べ)	25	36		30	人				123	265	
		(2) 援農ボランティアの累計活動日数	(経済労働局調べ)	400	413		440	日						
	4-2-1 ベンチャー支援、起業・創業の促進 (次代を支える産業を創出するため、市内での起業を盛んにする)	(1) 起業支援による年間市内起業件数	(経済労働局調べ)	62	39		80	件				125	270	
		(2) かわさき新産業創造センター(KBIC)の入居率	(経済労働局調べ)	90.0	97.0		90.0	%						
	4-2-2 地域を支える産業の育成・市内事業者等の新分野への進出支援 (成長分野や地域課題解決に寄与する市内事業所等の新分野への進出を促進する)	(1) ウェルフェアイノベーションフォーラムでのプロジェクト稼働件数	(経済労働局調べ)	10	21		20	件				85	272	
		(2) コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの年間起業件数	(経済労働局調べ)	4	5		5	件						
	4-2-3 科学技術を活かした研究開発基盤の強化 (先端科学技術分野において、高付加価値で競争力の高い製品を創出する)	(1) 新川崎・創造のもり地区における特許保有累計件数	(経済労働局調べ)	94	144		96	件				1,234	275	
		(2) ナノ医療イノベーションセンターの入居率	【n=70】(経済労働局調べ)	44.0	42.0		60.0	%						
		(3) 川崎市コンベンションホールの稼働率	(経済労働局調べ)	—	0.0		—	%						
	4-2-4 スマートシティの推進 (スマートシティの推進により、新たな産業やサービスを創出する)	(1) スマートシティに関連するリーディングプロジェクト実施累計件数	(環境局調べ)	7	24		16	件				22	277	
	4-2-5 ICT(情報通信技術)の活用による市民利便性の向上 (ICTにより、行政サービスを一層手軽に利用できるようにする)	(1) 提供しているオープンデータのデータセット数	(総務局調べ)	27	69		100	件				2,063	279	
		(2) 提供しているオープンデータのダウンロード数	(総務局調べ)	2,000	—		4,000	件						
		(3) 電子申請システムの利用件数	(総務局調べ)	103,400	142,900		108,000	件						
	4-3-1 人材を活かすしくみづくり (市内での雇用を促進するとともに、市内の優れた技能を次世代に継承する)	(1) 就業支援事業による年間就職決定者数	(経済労働局調べ)	666	741		700	人				138	284	
4-3-2 働きやすい環境づくり (誰もが働きやすい環境を整える)	(1) ワークライフバランスの取組を行っている事業所の割合	【n=801】(経済労働局調べ)	67.0	68.0		70.0	%				388	287		
4-4-1 臨海部の戦略的な産業集積と基盤整備 (臨海部の立地企業を増やし、生産活動を活発にする)	(1) 川崎区の従業者一人あたりの製造品出荷額	(工業統計調査)	14,500	14,527		15,700	万円				6,087	290		
	(2) キングスカイフロント立地事業所累計数	(臨海部国際戦略本部調べ)	13	29		22	事業所							
4-4-2 広域連携による港湾物流拠点の形成 (川崎港での物流を活発にする)	(1) 川崎港貨物取扱量(公共埠頭)	(港湾局調べ)	1,134	1,109		1,140	万t				6,509	293		
	(2) 川崎港へ入港する大型外航船(3千総トン数以上)の割合	【n=2,908】(港湾局調べ)	70	71		73	%							
4-4-3 市民に開かれた安全で快適な臨海部の環境整備 (川崎港の魅力を市民に広めるとともに、港の活力を高める)	(1) 川崎マリエン利用者数(港湾振興イベント及びスポーツ施設等の利用者を含む)	(港湾局調べ)	40.0	34.5		41	万人				1,715	296		
	(2) 市内の海周辺施設を利用したことがあり、魅力を感じる人の割合	【n=1,235】(市民アンケート)	11.0	13.3		13.0	%							

※掲載している数値や区分等については、現時点での見込みであり、今後、修正になる可能性があります。

部会	施策名 (直接目標)	成果指標	出典等 ※「n」の値は計画策 定時の値です。	成果指標の達成状況等						施策の達成状況		選定区分 ①～④ 選定外区分 ア～オ	H29予算 (百万円)	総計 (頁)
				計画 策定時値	【参考】H28 年度実績値	H29年度 実績値	第1期(H29) 目標値	単位	H29年度 指標達成度	仮判定	施策の 達成状況			
第3部会 (自治・文化・経済部会)	4-8-1 スポーツのまちづくりの推進 (スポーツを身近に感じ、楽しむ市民を増やす)	(1) 週1回以上のスポーツ実施率	【n=1,235】 (市民アンケート)	34.8	42.9		36.0	%			14,931	330		
		(2) 年1回以上の直接観戦率	【n=1,235】 (市民アンケート)	30.4	29.8		31.0	%						
		(3) スポーツを支える活動に年1回以上参加した人の割合	【n=1,235】 (市民アンケート)	5.7	4.2		6.0	%						
		(4) スポーツセンター等施設利用者数	(市民文化局調べ)	261.8	259.9		263.0	万人						
	4-8-2 市民の文化芸術活動の振興 (市内の文化芸術活動を推進し、一層市民に身近なものにする)	(1) 主要文化施設の入場者数	(市民文化局調べ)	126.9	128.6		135.6	万人			2,417	334		
		(2) 年1回以上文化芸術活動をする人の割合	【n=1,235】 (市民アンケート)	14.6	12.8		16.0	%						
	4-8-3 音楽や映像のまちづくりの推進 (音楽や映像を活用して、都市の魅力向上や地域の活性化につなげる)	(1) 「音楽のまち」の環境が充実していると感じる人の割合	【n=1,235】 (市民アンケート)	53.3	54.0		55.0	%			1,218	339		
		(2) ミューザ川崎シンフォニーホール主催・共催公演の入場者率	(ミューザ川崎シンフォニー)	72.0	73.0		73.0	%						
		(3) 「映像のまち」の取組を評価できる人の割合	【n=1,235】 (市民アンケート)	18.4	19.1		20.0	%						
	4-9-1 都市イメージの向上とシビックプライドの醸成 (市内外における市の認知度・好感度を高める)	(1-1) シビックプライド指標 市民の市に対する「愛着」に関する平均値	【n=4,000】 (都市イメージ調査)	6.0	5.9		6.1	点/10点			289	344		
		(1-2) シビックプライド指標 市民の市に対する「誇り」に関する平均値	【n=4,000】 (都市イメージ調査)	5.0	4.9		5.1	点/10点						
		(2) 隣接都市における、川崎市に良いイメージがあると感じている人の割合	【n=4,000】 (都市イメージ調査)	50.3	42.0		51.0	%						
	4-9-2 川崎の特性を活かした観光の振興 (市内への集客及び滞在を増加させる)	(1) 主要観光施設の年間観光客数	(経済労働局調べ)	1,504	1,549		1,646	万人			21,603	347		
		(2-1) 宿泊施設の年間宿泊客数	(経済労働局調べ)	178	183		187	万人						
		(2-2) 宿泊施設の年間宿泊客数【外国人】	(経済労働局調べ)	15	20		17	万人						
		(3) 工場夜景・産業観光ツアーの年間参加者数	(経済労働局調べ)	6,600	5,253		7,200	人						
	5-1-1 市民参加の促進と多様な主体との協働・連携のしくみづくり (多様な主体が協働・連携して地域課題の解決を進める)	(1) 地域貢献活動に関する取組にかかわったことのある人の割合	【n=1,235】 (市民アンケート)	19.8	15.3		21.0	%			284	354		
		(2) 町内会・自治会加入率	(市民文化局「住民組織調査」)	63.8	63.2		64.0	%						
		(3) 市内認定・条例指定NPO法人数	市民文化局調べ	8	9		14	団体						
	5-1-2 迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進 (市民の意見を幅広く聴取するとともに、分かりやすい情報発信を行う)	(1) コンタクトセンター内サンキューコールかわさきの対応満足度(総務局調べ)	【n=620】 (総務局調べ)	4.9	4.9		4.9	点/10点			629	357		
(2) 必要な市政情報を得ることができていると思う人の割合		【n=1,204】 (市民アンケート)	37.5	39.9		39.0	%							
5-1-3 共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化 (市民満足度の高い区役所サービスを提供する)	(1) 区役所利用者のサービス満足度	(市民文化局 各区役所における聞き取り調査)	97.1	96.9		98.0	%			2,620	360			
	(2) 個人番号カード交付率	(市民文化局調べ)	H28.1から交付開始	10.0		7.0	%							
5-2-1 平等と多様性を尊重した人権・平和施策の推進 (平等と多様性を尊重する意識を高める)	(1) 平等と多様性が尊重されていると思う市民の割合	【n=1,235】 (市民アンケート)	40.6	35.0		41.0	%			151	364			
	(2-1) 子どもの権利に関する条例の認知度(子ども)	【n=714】 (市民文化局 子どもの権利に関する実態・意識調査)	45.0	-		47.0	%							
	(2-2) 子どもの権利に関する条例の認知度(大人)	【n=307】 (市民文化局 子どもの権利に関する実態・意識調査)	31.9	-		33.0	%							
5-2-2 男女共同参画社会の形成に向けた施策の推進 (性別に関わりなく誰もが個性や能力を發揮できる環境を整える)	(1) 男女が平等になっていると思う市民の割合	【n=1,235】 (市民アンケート)	31.2	28.7		33.0	%			129	368			
	(2) 市の審議会等委員への女性の参加比率	【n=2,973】 (市民文化局 川崎市審議会等委員への女性の参加状況調査)	31.5	31.3		37.0	%							

※掲載している数値や区分等については、現時点での見込みであり、今後、修正になる可能性があります。